

# 令和7年度若年技能者人材育成支援等事業実施状況報告書

京都府技能振興コーナー

## 1 事業の実施体制等

区分	実施計画	実施状況（令和7年12月1日現在）
(1) 地域技能振興コーナー	京都府技能振興コーナーを設置し、京都府内における若年技能者人材育成支援等事業を実施する。	京都府職業能力開発協会（以下「協会」）内に京都府技能振興コーナーを設置
(2) 地域技能振興コーナーの事業実施体制	技能振興コーナー長、常勤職員2名、非常勤職員1名、非常勤・兼務職員1名を配置するとともに、公的施設等でのものづくりマイスターの派遣当日等に協会OB職員等を雇用して、効率的・効果的に事業を実施する。	コーナー長、常勤職員2名、非常勤のコーディネーター1名、非常勤職員1名を配置するとともに、公的施設等でのものづくりマイスターの派遣当日等に協会OB等を雇用

## 2 ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務等

区分	実施計画	実施状況（令和7年12月1日現在）																												
(1) ものづくりマイスター等の開拓	<p>○ 当協会の会員である業界団体や事業所等を対象に、京都府と合同で実施した「技能検定制度及び技能士の活用促進等に関するアンケート」で徴取した情報を手がかりとして、機械加工職種をはじめとして、ニーズが多く、不足気味のものづくりマイスターの開拓にウェイトを置き、新たなものづくりマイスターの掘り起こしを行う。</p> <p>○ 地域の経済団体の研修会や講演会等の場において、ものづくりマイスター制度等について、企業等に説明、周知を図り、人的資産としての技能者に光をあて、ものづくりマイスターの発掘につなげる。</p> <p>○ 情報技術によるシステム構築等に熟練したもののづくりマイスターについては、「ＩＴコーディネータ京都」と常に接触しながら開拓する。</p> <p>《活動目標》 新規認定数: 15人</p>	<p>協会会員への周知、経済団体を周知、ＩＴコーディネータ京都と連携した掘り起こし等を行った結果、次のとおりの新規認定状況となっている。</p> <p>【令和7年度ものづくりマイスター認定者数】</p> <table><tr><td>造園</td><td>1</td></tr><tr><td>機械加工</td><td>2</td></tr><tr><td>非接触除去加工</td><td>1</td></tr><tr><td>建築板金</td><td>1</td></tr><tr><td>紙器・段ボール箱製造</td><td>2</td></tr><tr><td>タイル張り</td><td>1</td></tr><tr><td>畳製作</td><td>2</td></tr><tr><td>型枠施工</td><td>2</td></tr><tr><td>防水施工</td><td>1</td></tr><tr><td>内装仕上げ施工</td><td>3</td></tr><tr><td>ガラス施工</td><td>1</td></tr><tr><td>表装</td><td>2</td></tr><tr><td>フラワー装飾</td><td>10</td></tr><tr><td>12職種</td><td>29名</td></tr></table> <p>※ 上記以外に認定申請中のものが8職種9名</p>	造園	1	機械加工	2	非接触除去加工	1	建築板金	1	紙器・段ボール箱製造	2	タイル張り	1	畳製作	2	型枠施工	2	防水施工	1	内装仕上げ施工	3	ガラス施工	1	表装	2	フラワー装飾	10	12職種	29名
造園	1																													
機械加工	2																													
非接触除去加工	1																													
建築板金	1																													
紙器・段ボール箱製造	2																													
タイル張り	1																													
畳製作	2																													
型枠施工	2																													
防水施工	1																													
内装仕上げ施工	3																													
ガラス施工	1																													
表装	2																													
フラワー装飾	10																													
12職種	29名																													
(2)ものづくりマイスター等への説明	認定を受けたものづくりマイスターについて、実技指導等に当たる前に、センターが定める免除基準に該当する場合を除き、指導技法等講習を受講する必要がある旨を説明する。	計画に従って説明を行った。																												
(3)申請書類等の取りまとめ	<p>○ ものづくりマイスターの認定申請書を受理し、申請書類はコーナーが取りまとめてセンターに提出する。</p> <p>○ 申請書のとりまとめに当たっては、ものづくりマイスターの認定要件だけでなく、生産性・品質向上、人材育成方法の指導、労働安全衛生法を含む労働環境の改善に向けた助言等を行う。</p>	認定申請に当たり、認定候補者から提出された申請書を確認し、不備がある場合は、修正等の指示を行った上で、中央技能振興センターに提出した。																												

<p>(4)ものづくり マイスター等 に対する研修</p>	<p>○ 新たに認定されたものづくりマイスター対して実技指導の結果報告の作成方法等を含む指導技法等講習を年2回実施する。</p> <p>○ 講習実施に当たっては、センターの準備する指導技法等講習の実施に関する支援を積極的に活用するほか、個人情報保護、セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントの防止、若年者・学生との接遇といった面の知識付与等を行うとともに、受講者に怪我のないよう、安全に十分配慮して技術指導に当たるようものづくりマイスターに伝え、徹底を図る。</p> <p>○ センター主催の「事例発表・意見交換会」について、該当するものづくりマイスターに参加勧奨を行う。</p>	<p>今年度新たに認定されたものづくりマイスター及び認定後3年以上経過したものづくりマイスターを対象に経験豊富なものづくりマイスターによる指導技法講習の実施を予定している。</p> <p>開催日：令和7年12月18日(金)</p> <p>開催方式：zoomによるオンライン</p> <p>受講者：13人</p> <p>※ 第2回を令和8年3月に開催予定</p>
---------------------------------------	--	--

### 3 ものづくりマイスター等の活用に係る業務

区分	実施計画	実施状況（令和7年12月1日現在）																				
(1)若年技能者の人材育成に係る相談・援助等	コーナーに若年技能者の人材育成に係る相談・援助の窓口を設置して、コーナー職員がものづくりマイスターと連携のもと、相談・援助を行う。	ものづくりマイスターと連携のもと、相談・援助を実施																				
(2)ものづくりマイスターの派遣による指導の実施	<p>○ ものづくりマイスター派遣のコーディネートに当たっては、新規派遣先の開拓に主眼を置いてコーディネートを行うとともに、京都市・京都府南部部域だけでなく、京都府北部地域の事業所等への派遣についても積極的に取り組む。</p> <p>○ ものづくりマイスター（IT部門・+DX）については、「ITコーディネーター京都」とも情報交換・連携をしながら、一層の周知を図りつつ、新規の派遣に向けたコーディネートを行う。</p> <p>《活動目標》 派遣対象ごとのものづくりマイスター派遣指導活動数（受講者延べ人日） ①中小企業：180人日 ②業界団体：20人日 ③工業高等学校等学校：200人日 合計：400人日</p> <p>《成果目標》 ①ものづくりマイスターの実技指導を利用した企業・業界団体・教育訓練機関の満足度：90%以上 ②ものづくりマイスターの実技指導の内容を理解し、今後に生かせるとした受講生の割合：90%以上 ③ものづくりマイスターを活用した企業又は業界団体が技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機となった割合：90%以上</p>	<p>ものづくりマイスターの派遣のコーディネートを行い、次のとおり派遣指導を実施した。</p> <p>ものづくりマイスター派遣による実技指導</p> <table><tr><th>区分</th><th>対 象</th><th>受講者数</th><th>内 容</th></tr><tr><td>①中小企業</td><td>6所</td><td>127人日</td><td>機械加工、機械検査、機械保全、電子機器組立て、IT（オフィスソフトウェアソリューション）</td></tr><tr><td>②業界団体</td><td>0所</td><td>0人日</td><td></td></tr><tr><td>③工業高校等学校</td><td>3所</td><td>267人日</td><td>電気溶接、左官、鉄筋施工</td></tr><tr><td>合 計</td><td>9所</td><td>394人日</td><td></td></tr></table>	区分	対 象	受講者数	内 容	①中小企業	6所	127人日	機械加工、機械検査、機械保全、電子機器組立て、IT（オフィスソフトウェアソリューション）	②業界団体	0所	0人日		③工業高校等学校	3所	267人日	電気溶接、左官、鉄筋施工	合 計	9所	394人日	
区分	対 象	受講者数	内 容																			
①中小企業	6所	127人日	機械加工、機械検査、機械保全、電子機器組立て、IT（オフィスソフトウェアソリューション）																			
②業界団体	0所	0人日																				
③工業高校等学校	3所	267人日	電気溶接、左官、鉄筋施工																			
合 計	9所	394人日																				

(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信	<p>○ 小中学校等の授業等へものづくりマイスターを派遣して「ものづくりの魅力」発信を行う。</p> <p>○ 公民館や地元教育委員会、商業施設等との協力・連携関係を最大限活用しながら推進する。</p> <p>○ サポートステーションから協力要請があれば、可能な限り、ものづくりマイスターの派遣によるものづくり体験等の実施に向けて取り組む。</p> <p>《活動目標》</p> <p>ものづくりマイスターの派遣指導活動数(受講者延べ人日)</p> <p>①地域若者サポートステーション事業：10人日</p> <p>②小中学校等の児童・生徒：690人日</p> <p>③公共施設等：2,800人日</p> <p>合計: 3,500人日</p> <p>《成果目標》</p> <p>ものづくりマイスターの授業等への講師派遣を利用した学校の満足度：90%以上</p>	<p>これまで実施機会が少なかった京都府北部地域において京都府中丹地域振興局主催の集客イベント「中丹JOBフェスタ」での魅力発信や「京都ものづくりフェア」における高校生・大学生・若年求職者を新たに対象とする体験実施など、従来ない展開での魅力発信に積極的に取り組んだ。</p> <p>ものづくりマイスターによる体験指導</p> <table><tr><th>区分</th><th>対象 (延べ)</th><th>職種数 (延べ)</th><th>体験者数</th></tr><tr><td colspan="4">①地域若者サポートステーション事業</td></tr><tr><td>京都若者サポートステーション</td><td>1所</td><td>1職種</td><td>15人日</td></tr><tr><td colspan="4">②小中学校等の児童・生徒</td></tr><tr><td>小学校</td><td>6所</td><td>6職種</td><td>302人日</td></tr><tr><td>中学校</td><td>2所</td><td>2職種</td><td>19人日</td></tr><tr><td>高校(定時制)</td><td>1所</td><td>1職種</td><td>55人日</td></tr><tr><td>小計</td><td>9所</td><td>9職種</td><td>376人日</td></tr><tr><td colspan="4">③公共施設等</td></tr><tr><td>公民館等公的施設</td><td>26所</td><td>26職種</td><td>1063人日</td></tr><tr><td>ショッピングモール等</td><td>3所</td><td>9職種</td><td>701人日</td></tr><tr><td>ハローワーク西陣（連携開催）</td><td>1所</td><td>1職種</td><td>16人日</td></tr><tr><td>京都ものづくりフェア</td><td>1所</td><td>11職種</td><td>1197人日</td></tr><tr><td>小計</td><td>31所</td><td>47職種</td><td>2977人日</td></tr><tr><td>合計</td><td>41所</td><td>57職種</td><td>3368人日</td></tr></table>	区分	対象 (延べ)	職種数 (延べ)	体験者数	①地域若者サポートステーション事業				京都若者サポートステーション	1所	1職種	15人日	②小中学校等の児童・生徒				小学校	6所	6職種	302人日	中学校	2所	2職種	19人日	高校(定時制)	1所	1職種	55人日	小計	9所	9職種	376人日	③公共施設等				公民館等公的施設	26所	26職種	1063人日	ショッピングモール等	3所	9職種	701人日	ハローワーク西陣（連携開催）	1所	1職種	16人日	京都ものづくりフェア	1所	11職種	1197人日	小計	31所	47職種	2977人日	合計	41所	57職種	3368人日
区分	対象 (延べ)	職種数 (延べ)	体験者数																																																											
①地域若者サポートステーション事業																																																														
京都若者サポートステーション	1所	1職種	15人日																																																											
②小中学校等の児童・生徒																																																														
小学校	6所	6職種	302人日																																																											
中学校	2所	2職種	19人日																																																											
高校(定時制)	1所	1職種	55人日																																																											
小計	9所	9職種	376人日																																																											
③公共施設等																																																														
公民館等公的施設	26所	26職種	1063人日																																																											
ショッピングモール等	3所	9職種	701人日																																																											
ハローワーク西陣（連携開催）	1所	1職種	16人日																																																											
京都ものづくりフェア	1所	11職種	1197人日																																																											
小計	31所	47職種	2977人日																																																											
合計	41所	57職種	3368人日																																																											
(4) 熟練技能者等による派遣指導及び「ものづくりの魅力」発信事業の実施	<p>ものづくりマイスターの対象分野に該当しない職種の熟練技能者・準熟練技能者の派遣のマッチングを図る。</p>	<p>熟練技能者（フラワー装飾）による体験教室を実施</p>																																																												

#### 4 地域における技能振興事業の実施

区分	実施計画	実施状況（令和7年12月1日現在）																	
(1) 技能五輪 全国大会の予 選の実施等	① 技能五輪全国大会の予選会の実施 京都府から大会参加が見込める職種について、 技能検定とは別に予選会として競技を行う。 なお、予選会の実施に当たっては参加手数料を 徴収する。 日本料理職種：5名程度（令和7年5月予定） 造園職種：5名程度（令和7年5月予定）	日本料理職種について予選会を開催 参加選手2名（5月18日(日)開催）																	
	② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技 大会への参加支援の実施 大会への参加選手とその指導者等の参加旅費 及び道具等の運搬費を援助する。  (支援選手見込数) ア 第20回若年者ものづくり競技大会：参加選 手2名、指導員2名（予定） イ 第63回技能五輪全国大会：参加選手5名、 指導員3名（予定）	ア 第20回若年者ものづくり競技大会 令和7年8月3日(日)・8月4日(月)開催 <table border="1"><tr><td>職 種</td><td>旅 費</td><td>工具運搬費</td></tr><tr><td>造 園</td><td>選手1人、指導者1人</td><td></td></tr></table> イ 第63回技能五輪全国大会 令和7年10月17日(金)～20日(月)開催 <table border="1"><tr><td>職 種</td><td>旅 費</td><td>工具運搬費</td></tr><tr><td>フラワー装飾</td><td>選手1人、指導者1人</td><td></td></tr><tr><td>造 園</td><td>選手2人、指導者2人</td><td></td></tr><tr><td>和 裁</td><td>選手2人、指導者1人</td><td></td></tr></table>	職 種	旅 費	工具運搬費	造 園	選手1人、指導者1人		職 種	旅 費	工具運搬費	フラワー装飾	選手1人、指導者1人		造 園	選手2人、指導者2人		和 裁	選手2人、指導者1人
職 種	旅 費	工具運搬費																	
造 園	選手1人、指導者1人																		
職 種	旅 費	工具運搬費																	
フラワー装飾	選手1人、指導者1人																		
造 園	選手2人、指導者2人																		
和 裁	選手2人、指導者1人																		
(2) 卓越した 技能者（現代 の名工）の表 彰制度の紹介 コンテンツの 作成支援	センターが示す編集方針に沿って被表彰者に対 してコーナーが取材を行い、取材結果をセンター に提出する。	令和7年度卓越した技能者（現代の名工）の被表 彰者の取材について調整中																	
(3) 「地域 発！いいも の」応援事業 及びグッドス キルマーク事 業の休止に伴 う対応	両事業の認定を受けた事業者から認定内容の変 更、廃止等の相談があった場合、センターに問い 合わせるよう伝える。	特段の相談等の事例なし																	

## 5 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

実施計画	実施状況（令和7年12月1日現在）
<p>○ 次の13人の委員で構成する連携会議を設置する。</p> <p>京都労働局1、京都府1、京都府教育委員会2、京都市教育委員会2、京都職業能力開発促進センター1、京都商工会議所1、京都府商工会連合会1、京都府中小企業団体中央会1、日本労働組合総連合会京都府連合会1、京都府技能士会連合会1、当協会1</p> <p>○ 連携会議を年間2回開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回目（4月～5月）前年度実施結果報告、本年度推進計画等</li> <li>・ 2回目（11月～12月）事業実施状況報告、次年度に向けた改善事項の検討・報告等</li> </ul>	<p>第1回連携会議：</p> <p>令和7年5月19日(月)、対面により開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和6年度事業の実施結果について</li> <li>②令和7年度事業の実施計画について</li> <li>③その他</li> </ul> <p>第2回連携会議：調整中</p> <p>令和8年2月初旬に開催予定（ZOOM）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和7年度事業の実施状況について</li> <li>②令和8年度事業の展開方向について</li> <li>③その他</li> </ul>
<p>○ 京都労働局や京都新卒ハローワーク協議・連携を深め、大学をはじめとする教育機関に対して、その就職・進路支援部門を窓口としてアプローチしていくことで、ものづくりマイスターの新規開拓の幅を広げる。</p>	<p>ハローワーク西陣の労働局地場産業サポートチームが行う事業のうち、ものづくり仕事体験企画について協力依頼があり、同チームと連携して体験講習を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①印章彫刻体験：小学5,6年生対象 13名参加</li> <li>②ミシ製作体験：定時性高校の文化祭にて同校生徒と近隣の住民を対象 55名参加</li> <li>③タイル張りコースターづくり体験：小学4,5,6年生対象 12月下旬に予定</li> </ul>

### 個人情報等の適切な取扱い及び漏洩防止を徹底するための措置

個人情報等の適切な取扱い及び漏洩防止を徹底するための措置	<p>個人情報等を適切に取り扱い、メール誤送付等の漏洩事象が生じないよう所要の対策を講じるとともに、情報セキュリティインシデントが発生した際は、委託者に速やかに報告を行う。</p>	<p>個人情報等を適切に行うとともに、漏洩防止のための所要の対策を講じており、情報セキュリティインシデントは発生していない。</p>
------------------------------	--	--